

平成30年度 事業計画

一般社団法人壱岐市観光連盟

観光振興の基本方針となる国が策定する「観光立国推進基本計画(29年度～32年度)」は、訪日外国人旅行者数を2020年に4,000万人、日本人国内旅行消費額21兆円、10年後の2030年にそれぞれ6,000万人、22兆円の目標数値を設定しており、目標を達成するための方向性として3つのテーマを掲げています。

1つ目は「観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に」。として、文化財政策の保存優先から活用への転換、景観の魅力向上。二つ目は「観光産業を革新し、国際競争力を高め、わが国の基幹産業に」。三つ目は「すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に」。の3つの視点で、我が国が世界に誇る「自然」、「文化」、「食」、「気候」という観光振興に必要な4条件をフルに活用し、世界が訪れたいくなる「観光先進国・日本」の実現にむけて施策が展開されています。

県においては、長崎県観光振興基本計画(28年～32年)が策定され、「しまは日本の宝」戦略、しま旅滞在型事業など様々な事業が取り組まれています。

壱岐市においては、今年の3月に第3期壱岐市観光振興計画(平成30年～32年)が策定され「実りの島、壱岐」をコンセプトに、市民総力による観光振興において経済浮揚することで市民に実りをもたらし、雇用の場が創出されることにより、若者の島外流出抑制、定住移住につながるよう各施策の展開を図っていくこととされています。

当連盟の主な取り組みとしては、国、県、市の観光振興計画に基づき、食と歴史・文化・自然を生かした魅力ある観光商品づくりを目指すため、昨年4月施行の「有人国境離島法」において、滞在型観光促進事業が創設され、観光客の「もう一泊」につながる着地型観光サービスの開発や磨き上げなど、観光地として持続性のあるしっかりとした形とし、新たな観光客の獲得を図ります。有人国境離島法を有効に活用し、行政をはじめ関係する事業者と連携しながら取り組んでまいります。

特に、誘客促進対策として本年度、西日本旅客鉄道株式会社と連携し「新幹線で壱岐に
いきたい」～博多港から船で約65分の実りの島、壱岐～キャンペーンを展開いたします。

旅行会社と連携した専用商品の販売をはじめ、様々な媒体を活用し、露出拡大を行い、
関西圏の誘客促進を図ります。

修学旅行を中心とする教育旅行の取り組みについて、すでに29校、約3,700名が来島予
定です。将来の「壱岐ファン」を一人でも多く作ることが重要と考えており、引き続き積極的に
営業活動を行います。

これまで培ってきた数多くの体験プログラムを再構築して、滞在時間の拡大のための情報
発信とテレビなどのメディアを活用した情報発信を恒常的に実施するとともに旅行会社への
企画造成へ向けた営業活動や情報提供を行い、交流人口の拡大に努めてまいります。

インバウンドについては、徐々に増加しており、6月には台湾旅行業者のツアーが催行さ
れる予定です。今後も外国人観光客の特性に合わせた施策を、市と連携しながら充実した
受け入れ体制創りと交流人口の拡大へ向けて取り組みを進めます。

法人として経営環境の整備と収益事業の確立のために収益事業の大きな柱となった旅行
業の取り組みも事業開始から4年が経過しました。年々倍増している旅行事業の取組みを
着実に進め、着地型旅行商品の企画造成の拡充と販売の拡大に取り組みます。また、二次
交通の課題解消のために取り組みを行っている電動アシスト付き自転車の利用促進をはか
り、周遊プランの提案や利便性の向上に努めてまいります。これらの事業の確立によって安
定的な雇用の確保と人材の育成を目指します。

引き続き、島が誇る「自然」、「歴史、文化」、「食」で、観光客に実りを与え、「おもてなし」を
もって交流人口拡大に次の重点目標を中心に取り組んでいきます。

重点目標

1. 第3次壱岐市観光振興計画の実現に向けた推進体制・組織の強化。
2. 有人国境離島法を活用した滞在型観光の促進。
3. ホームページ等を活用した迅速な情報発信とメディア活用による情報発信。

4. 「実りの島 壱岐」をコンセプトとした日本遺産など、観光ブランド力の展開。
5. JR 西日本との連携事業「新幹線で壱岐に行きたい」の推進。
6. 島の宝観光連盟との連携によるPR、誘致活動の展開。
7. 「おもてなしの心」の醸成など観光従事者及びおもてなし市民力の向上。
8. 魅力的な着地型旅行商品の企画造成、販売の拡大。
9. 収益事業の確立と安定的な経営を目指す。

事業概要

1. 観光宣伝・誘客促進事業

壱岐市と連携した観光宣伝隊の派遣や観光物産展の開催、メディアを活用した情報発信、また魅力ある体験型観光商品の創出、壱岐夜神楽公演等の展開により、壱岐の知名度アップと交流人口拡大を図る。

- (1) 観光情報誌等への掲載
- (2) メディア・マスコミ・旅行会社訪問
- (3) モニターツアーの実施(国内外)
- (4) 観光物産展開催事業
- (5) 壱岐夜神楽「文化遺産の舞」公演事業
- (6) プロモーション映像を活用した情報発信
- (7) 一般・教育旅行・インバウンド誘致営業活動
- (8) 壱岐行き観光サポーター事業
- (9) 他地域、離島の観光関係団体(島の宝観光連盟)との連携、協調

2. 受入体制の整備・強化

壱岐を訪れていただいたお客様に、おもてなしの心をもって快適な時間や空間を提供するとともに魅力ある体験メニューを提供することにより、リピーターに繋げていく。

新たに設置された郷ノ浦港観光案内所を観光案内、観光情報提供、壱岐ちゃり（電動アシスト付き自転車）の貸出、手荷物預かり、しまとく通貨引換等、観光サービスの拠点として強化する。

- (1) 観光案内所設置事業(郷ノ浦港・芦辺港・印通寺港ターミナル案内所)
- (2) 筒城浜ふれあい広場管理・海の家設置事業

- (3) 体験プログラムの再構築と内容の充実
- (4) 子ども農山漁村交流プロジェクト事業
- (5) 観光団歓迎事業
- (6) 教育旅行受入プロジェクト事業

3. 壱岐市内の各種イベントスポーツ大会協力事業

交流人口の拡大を図るため、各イベントやスポーツ大会の広報宣伝や運営に協力する。

- (1) 壱岐サイクルフェスティバル
- (2) 壱岐-博多ヨットレース
- (3) 壱岐大大神楽公演
- (4) ツインズビーチフェスティバル
- (5) 壱岐ウルトラマラソン
- (6) 壱岐の島新春マラソン大会
- (7) 壱岐壱岐綱引き大会
- (8) 各種イベント、スポーツ大会

4. 長崎県観光振興課・長崎県観光連盟事業参画

長崎県観光振興課並びに長崎県観光連盟が実施する各事業への参画により、壱岐の知名度向上と誘客促進を図る。

- (1) 長崎県観光情報説明会への参加
- (2) 長崎県おもてなし運動への参加
- (3) 旅行会社、メディア関係への情報発信と営業活動
- (4) 教育旅行の誘致活動の参画
- (5) インバウンド誘致活動の参画

5. 福岡市経済観光文化局・福岡観光コンベンションビューローとの連携強化

福岡市経済観光文化局及び福岡観光コンベンションビューローが実施する各事業への参画により、壱岐の知名度向上と誘客促進を図る。

- (1) 福岡市・九州離島広域連携事業(Re 島プロジェクト)との連携と活用
- (2) 福岡観光プロモーション協議会への参加

(3)福岡市との連携による誘客促進事業の推進

6. 会員広報活動事業

「連盟だより」の定期的な発行と会員へのイベント情報の提供。

7. 青年部・女性部事業

(1)各種イベント、連盟事業への支援、協力

(2)観光地清掃活動の実施

(3)花いっぱい活動の展開

8. 経営基盤の確立と盤石な組織体制を目指す

安定的な経営と雇用のために収益事業の確立を目指す。

(1)旅行事業の企画内容の充実と販売の拡大

(2)体験プログラムの内容充実と販売の拡大

(3)壱岐ちやりレンタル事業の充実と販売の拡大

(4)一支國国民証事業推進

(5)その他収益事業の確立

以上